



@幸せな贈り物



人ならば
みな
人なのではないか…

三種類の人「人ならば、みな人なのではないか。人であってこそ、人であって…」という冗談のような本当の話があります。この世には三種類の人があると言われていて、必ずいなければならない人、いてもいなくてもよい人、そして、いてはいけない人です。それでも、私たちに希望があるのは、多くの人が必ずいなければならない人であることを夢見るからです。少し前に天国に召された「シンバラム健康博士」として知られていたファン・スグアン博士は、彼の最後の幸せ手紙で、この世で最も美しい英語単語は‘Mother お母さん’だと言いました。

そして人生を変えた美しい話を紹介しました。

ある一流大卒生が、ある会社に履歴書を出しました。社長が面接の席で思いがけない質問を投げました。

「あなたは、親ごさんを入浴させてあげたり、腕と足をもんであげたことはありますか？」

「ありません」と青年は答えました。

「それでは、親ごさんの背中を一度かいてあげてあげますか？」

青年はどう言うべきかわからないで「背中を一度もかいてあげたことはありません」と答えました。

青年は、心配になり始めました。ひょっとして入社ができないかと思っ…

「明日、この時間にまた面接しにきてください。しかし、お願いがひとつあります。明日ここにくる前に、親ごさんに親孝行を一度してくれば良いでしょうね。できますか？」

青年は、はいとうなずきました。お父さんは彼が生まれてからいくらか経たずに亡くなり、お母さんがパートで働いて彼の学費を稼いだのでした。彼は名門大学に合格しました。学費がとても高かったのですが、お母さんは一度も大変だということ言ったことがなかったのです。青年が家に帰ったとき、お母さんは仕事場から、まだ戻っていませんでした。青年はじっくり考えました。

「お母さんは、一日中、外で仕事をしているから、まぢがいなく足が最も汚いだろう」

だから、足を拭いてあげた方が良くと思いました。家に戻ったお母さんは、はじめはどうしても足を出さなかったのですが、息子の説明を聞いて、入口の敷居に腰掛けて洗面器に足を漬けました。青年は生まれてはじめてお母さんの足をつかんでみました。手がお母さんの足の裏を触った瞬間、青年は驚くしかありませんでした。

お母さんの足の裏は、セメントのようにかたく固まっていて、あちこちが割れてばん創膏をはってありました。青年は息が止まって、なにも言えなくなりました。

青年の手が震え始めました。出てくる泣き声を出さないようにしようと歯をくいしばりました。

しかし、肩が揺れることは、どうすることもできませんでした。片方の肩にお母さんの暖かい愛の手を感じました。青年はお母さんの足を抱きしめて号泣して、泣き崩れ始めました。

その次の日、青年はまた会った会社の社長に話しました。

「社長、今回の機会を通して、母の愛を胸の中深くに悟らせてくださって感謝します。これから、ひとりになった母によく仕えます」

社長は微笑みながらうなずくと、静かに話しました。

「合格です。人事部に行って手続をとってください」

感謝、感激、感動ある人生のために… そのはじめりは、このようです。

人の説明より、神様の約束である聖書を通して確認してみましょう。

本来の人間— 「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」(創世記 1:27~28)

墮落した人間— 「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、」(ローマ 3:23) 「それは、次のように書いてあるとおりです。『義人はいない。ひとりもない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行なう人はいない。ひとりもない。』」(ローマ 3:10~12) 「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」(ヨハネ 8:44)

人間回復のための神様の愛— 「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ 3:16) 「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに對するご自身の愛を明らかにしておられます。」(ローマ 5:8) 「私があなたがたに最もたいせつなことからして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書の示すとおり、三日目によみがえられたこと、」(1コリント 15:3~4) 「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』」(ヨハネ 14:6)

神様の子どもにくださった祝福— 「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」(ヨハネ 1:12) 「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」(ローマ 10:9~10) 「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」(ローマ 8:1~2) 「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。」(ヨハネ 5:24)

最も価値ある人生のため第2の開始— 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」(使徒 1:8) 「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイ 28:20)

いま、はじめてください。

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」(使徒 16:31)

どの国から くる答えですか？

すべての宗教人は答えを受けます。気功、瞑想運動、超能力運動をする人でも答えを受けます。問題は、だれがもたらす答えなのかということです。

聖書を見れば、イエス様がこの世に来られた理由と答えについて、このように語っています。

「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。……わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っていると同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。」(ヨハネ 10:10~15) 信者が多く使うことばの中の一つは「神様のみこころ」という表現です。神様のみこころと言うとき、最も基準になるのは神様のみこころが正しく成就して合っているのかということです。

正しい祈りの課題の最初が「イエス・キリストの御名の奥義」を正しく知って祈ることならば、二番目の正しい祈りの課題はマタイ 6章 10節にあるとおり「御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。」です。

神の国が存在するということは、その反対になる国もあるということです。言い換えれば「サタンの国」があるということです。それで、この世には理解できない変なことが続いているのです。聖書は語っています。サタンがもたらした創世記 3章の神様を離れた不信仰の問題、創世記 6章の墮落の問題、創世記 11章の成功の後に崩れるしかない人生のむなしさは、人間の努力と方法では解決できないということです。なぜなら、人間の力でサタンの力に勝つことができないためです。それで、神様がキリストを送ってくださると言われました。聖書はすべての人が罪を犯して神様の栄誉に至ることができないと言っていますが、それはすべての人にキリストが必要だということです。イエス・キリストによって、神の国が臨む答えを受けるとき、光と暗やみがかともにいることができないように、サタンの国は縛られて崩れるようになります。サタンの国が崩れなければ、理解できない霊的な病気、精神病、自殺、不治の病と肉体の問題、子どもと家庭の崩壊、次世代と未来問題は引続きくるしかありません。「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」祈りはこの権威を味わうことです。そのときに、どんな状況の中でも永遠な神の国の祝福を味わうようになります。私と家庭と家系と地域に働くサタンの国を倒して、まことの恵みと平安を味わう神の国が臨むのが、信徒の二番目の正しい祈りの課題です。

その霊に、「イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け」と言った。すると即座に、霊は出て行った。(使徒 16:18)

神様の子どもになる

受け入れの祈り

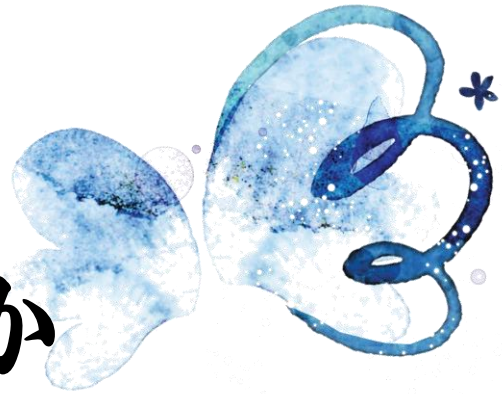
愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入れて来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの

毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

どんな答えが必要ですか



すべての問題には答えがあるはずだ。人は生きているなら、なにかの場合に従って問題が生じるが、そのすべての場合を満足させる答えは必ずある。ただし、その答えを見つけられないとき、私たちは苦しいと言う。数学の問題でも生活の問題でも、質問には確実な返答が要求される。適当な答えが必要なのではなく、明らかな答えが必要だ。ところで、正確な答えを得ようとするなら、正確な問題が提示されなければならないように、人生の問題も誤答を避けようとするなら、問題を正確に見なければならない。人はからだを持っているので、地球の上での制約的人生を生きていく。しかし、人間は地球を飛び越える知恵を持った霊的存在だ。だれも教えてくれたことはないのに、人間の吉凶、災いと幸いを自ら分かったり、他人の状態を占ったりもする。はじめには不思議に思っているが、結局、それが人間をしる悪霊のしわざであることを明らかにするには、それほど長い時間はかからない。シャーマンは、ある日、自分に迫ってきた未来の予告の現象に驚くが、それが祝福でなく精神的に苦しめられる症状であるということを知るようになる。それを解決してみようと、山や野原をさまよって回って、この宗教、あの宗教を行き来して、答えを期待するが、自分の周辺で行われることに対する確かな答えを得ることができない。結局、それが悪霊のしわざであることを分かっても、解決策が出てこないのも、苦痛の道であることを分かりながら、自分が耐えることができ、家族を生かすという優しい思いで霊にとりつかれ、シャーマンの道に行く。子どもたちには、絶対に自分の道のあとを継がせないと心に決めてみるが、結局、霊につかれることを拒否できる力が人間にはないので、苦痛は再生産される。他の人の未来を知らせて、その神通力が優れていればいるほど、より一層、悪霊に苦しめられて、自らの監獄に閉じ込められて苦勞する。動物とは違って、人は霊的な存在

なので、このようなことが起きえる。それでは、こういう問題の答えは、宗教が答えなのだろうか。お祓いが答えであろうか。宗教はすでに答えではないことが結論が出ていて、お祓いは結局、悪霊の前に頭を下げることであるから答えとは言えない。人生の問題の答えは、ただ福音だけが答えであるが、それとても明らかな唯一の解答だ。人生の問題は、どんな場合の問題でも、神様を離れてできた霊的問題が原因であるから、原因を解決してこそ問題が解ける。当然の問題において吉凶を占い、お祓いをして、お辞儀をすとしても、結局、人生の問題が解決されることは何もない。かえってその方法のために問題の悪循環が繰り返されるだけだ。それでは、方法がないのだろうか。そうではない。道は必ずある。神様は人生がなくなった道のために、ご自分の光でのちの道に案内してくださる。宗教は道に迷った人生に良い表示板になることはできるが、救いの道はただイエス・キリストだけだ。解けない問題があつて、神、すなわち悪霊につかれなければならない危機にあつたり、弱々しく苦しみの理由がない病気になるつたり、お祓いをいくらしても問題が解決されず、自殺衝動がずっとあるなら、その人には福音だけが正確な答えだ。喉が渇くからといって、海水をいくら引き寄せても、すがすがしくならない。すがすがしい水だけが、のどの渇きを解消する道になるように、イエスは人間の救いのためのいのちの水となる。私たちは、これまで道がなかったのではないが、道を見つけることができず、道だと思っても信仰を持つことができなかつた。信仰は見上げることだ。キリストを見上げれば、まことの自由を得て、霊的問題が解決される、これこそがあなたが受けられるまことの答えだ。

チョン・ヒョングク(福音コラムニスト)